

令和3年度後期学校評価集計結果

質問1		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	授業の内容は、わかりやすいですか。	89.1%	10.0%	0.9%	0.0%	53.9%	39.1%	6.1%	0.9%	6.8	5.9	14.3
保護者	学校は楽しく学べる工夫やわかりやすい授業づくりに取り組んでいると思いますか。	82.7%	16.8%	0.5%	0.0%	44.3%	51.7%	4.0%	0.0%	6.6	5.8	14.5
教職員	児童がわかりやすい授業づくりに取り組んでいる。	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%	17.6%	76.5%	5.9%	0.0%	6.8	5.2	19

児童アンケートの結果をみると、「授業の内容はわかりやすいですか。」の質問に対し、よくわかっている53.9%、大体わかっている39.1%と約9割近くの児童が授業について大まか「わかりやすい。」と感じているようです。授業の様子を見ても、どの児童も一所懸命に学習している姿が見られます。しかし学習内容の定着が課題であるといえます。定着するようためにおすすめは復習です。今日学習した内容を短時間でも振り返ること。例えば今日学習した漢字や算数の問題を繰り返し解くことが大切です。さらに高学年では次の日の予習に取り組む習慣がつけられたらいいと思います。

質問2		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	授業中、自分の考えを友達に伝えることは楽しいですか。	74.3%	20.0%	3.9%	1.7%	43.9%	39.1%	12.6%	4.3%	6.3	5.5	15.8
保護者	お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいる。	75.6%	23.4%	0.5%	0.5%	27.4%	55.7%	15.9%	1.0%	6.5	5.2	18.2
教職員	児童が学習内容を把握し、自分の考えを進んで表現できるように指導している。	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%	17.6%	76.5%	5.9%	0.0%	6.8	5.2	19

コロナ禍の昨今、グループ学習などで自分の考えを友達に伝えることがなかなかできない状況ですがお互いのノートを見合ったり短時間でも学びあい学習に取り組んでいる姿をみると子ども達の成長を感じます。児童アンケート実現度の「よくできている。」「大体できている。」が80%を超えるなど制限された中での学習が続く中、よく頑張っていると感じました。少し苦手意識のある20%の児童に本来自分の考えを友達に伝えることは楽しいことだということを授業の中で伝えたいと思います。

質問3		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	毎日、家や学校で勉強をしていますか。	83.9%	11.3%	3.5%	1.3%	65.9%	24.9%	6.6%	2.6%	6.6	6.1	12.5
保護者	お子さんは、毎日家で宿題や勉強をしている。	77.7%	20.8%	1.5%	0.0%	48.5%	38.6%	11.4%	1.5%	6.5	5.7	15
教職員	児童に家で宿題や勉強ができるように適切な課題を与え、評価している。	81.3%	18.8%	0.0%	0.0%	25.0%	62.5%	6.3%	6.3%	6.7	5.1	19.4

この項目では約90%の保護者の方が子ども達が毎日家で学習する習慣ができていると回答しました。児童が自立した学びを獲得するために家庭学習は欠かせません。家庭学習をする上で、まずはしっかりと宿題に向き合ってほしいと思います。どの教科の宿題も丁寧に取り組む習慣をつけてほしいです。わかったからだと簡単とかで単に答えだけを書いて提出しているノートをよく見かけます。算数なら答えに行きつくまでの途中式を必ずくことが大切です。漢字学習なら丁寧に進めることができます。その積み重ねがこれから学習に生きてくるものです。

質問4		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	コンピュータを使った授業はわかりやすいですか。	71.7%	23.5%	4.3%	0.4%	67.8%	24.8%	5.7%	1.7%	6.3	6.2	11.3
保護者	学校は、日々教育活動の中でGIGA端末やICT機器を積極的に活用した授業を行っている。	53.1%	44.0%	2.4%	0.5%	27.6%	54.3%	15.6%	2.5%	6	5.1	17.4
教職員	日々の教育活動の中で、GIGA端末やICT機器を積極的に活用した授業を行っている。	50.0%	43.8%	6.3%	0.0%	18.8%	50.0%	25.0%	6.3%	6.2	4.6	21.1

児童アンケートでは「コンピュータを使った授業はわかりやすいですか。」の問いで、重要度、実現度とも高い数値を示しました。児童についてコンピューターは「これから必要不可欠なものである。」と感じているようです。令和元年12月に出された文部科学大臣メッセージにもあるようにSociety5.0時代に生きる子どもたちにとって、PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムだと言われています。GIGA端末は多様な子どもたちをだれ一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育むものとして期待されています。大枝小でもデジタル教科書の活用、端末を使った調べ学習や協働学習、授業支援ソフト「ロイロノート・スクール」を用いた授業、デジタルドリルの活用などを進めています。

質問5		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	難しいことでもねばり強くチャレンジしようとしていますか。	88.3%	8.7%	2.2%	0.9%	57.3%	27.3%	12.8%	2.6%	6.7	5.8	14.7
保護者	お子さんは、難しいことでもねばり強くチャレンジしようとしている。	74.5%	24.5%	1.0%	0.0%	18.9%	54.2%	23.9%	3.0%	6.5	4.8	20.8
教職員	日々の教育活動で、児童の自己肯定感を高めることができるよう指導している。	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	25.0%	70.0%	5.0%	0.0%	6.9	5.4	17.9

保護者アンケートからは「あまりできていない。」「できていない。」の回答が全体の25%と厳しい回答が寄せられました。学校での児童の様子を見てみると、難しいことにも粘り強く頑張っている姿をよく見受けられました。11月にあった持久走大会に向けての業間マラソンでは、自分のめあてを持ち一所懸命に取り組む姿がありました。本番の持久走大会では、長い距離を自分のペースでしっかりと走りとおすことができました。一つ一つの課題を試行錯誤しながらやり切ろうとしている子ども達の姿に勇気をもらいました。以前にも書きましたがいろいろなことに粘り強く取り組む力は将来必ず出会うであろう困難に立ち向かう力となります。子ども達に一つのことを継続してやり切ったという経験を一つでも多く感じてもらいたいです。ご家庭でも子どもたちと話しあって、家族で何かチャレンジしてみるのもいいですね。

質問6		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	学校は、楽しい時もあり、厳しく感じる時もありますか。	80.9%	17.4%	0.9%	0.9%	78.7%	17.4%	2.2%	1.7%	6.6	6.5	9.9
保護者	学校は、お子さんにとって楽しくもあり厳しさもある場になっていきます。	75.4%	24.6%	0.0%	0.0%	40.0%	54.0%	5.5%	0.5%	6.5	5.7	15
教職員	厳しいけれどこわくなく、優しいけれど甘くない教職員である。	81.0%	14.3%	4.8%	0.0%	14.3%	81.0%	4.8%	0.0%	6.7	5.2	18.8

「楽しい。」と「厳しい。」は対極にある表現ですが、小学校という発達段階のなかでは、どちらも大切な要素です。保護者アンケートの実現度をみるとそういう場になっているという回答は40%でした。私たち教職員は「楽しくもあり厳しさもある場」をしっかりと目指していきたいと思います。今年度もコロナ禍の中でいろいろな学校行事が制限される中、今できることは何かを常に考え、進めてきました。来年度も今できることを大切にしながら頑張っていきたいです。

質問7		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	思いやりの心をもち、友達と仲良く助け合っていますか。	92.6%	5.2%	1.3%	0.9%	65.9%	27.0%	5.8%	1.3%	6.8	6.2	12.2
保護者	お子さんは、おもいやりの心をもち、友達と仲良く助け合う子に育っている。	83.5%	16.5%	0.0%	0.0%	42.8%	52.7%	4.5%	0.0%	6.7	5.8	14.7
教職員	日々の教育活動の中で、子どもたちと遊んだり、子どもたちの話に耳を傾けている。	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%	33.3%	61.9%	4.8%	0.0%	6.9	5.6	16.6

児童・保護者・教職員アンケートとも「よくできる。」「大体できている。」の数値が90%以上ととてもいい評価が現れました。今年一年大枝小学校の教職員として学校の様子をみてきて、この数値は「なるほど。」とうなづけるところです。大枝小学校の子どもたちの良さは、以前の学校評価にも書きましたが、誰とでも分け隔てなく仲良く遊び、助け合おうとするところです。各教室の中で毎日のようにその姿が見て取れます。この良さをこれからも続けてほしいと思います。

質問8		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	しっかりと自分からあいさつをしていますか。	85.7%	11.7%	1.7%	0.9%	51.3%	31.6%	11.4%	5.7%	6.6	5.6	15.8
保護者	お子さんは、しっかりと自分からあいさつをしている。	80.6%	18.4%	1.0%	0.0%	20.5%	48.5%	27.0%	4.0%	6.6	4.7	21.8
教職員	日々の教育活動の中で、子どもたちに笑顔であいさつをしている。	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	63.6%	31.8%	4.5%	0.0%	6.9	6.2	12.4

先日児童から「あいさつのいいところはどこですか?」という質問を受けました。「あいさつをされたり、返したりすると笑顔になったり、元気になりました。あいさつってとてもすてきなものだね。」と答えました。今回の児童の回答では、82%の児童が「よくできている・大体できている」と答えました。廊下でそれ違うと「おはようございます。」「こんにちわ」と声をかけてくれる児童も多くなってきたように思います。「あいさつは人を大切にする第一歩である。」と言われるようにあいさつは人ととのコミュニケーションの基本です。すべての児童が、どんな時にでも、あいさつが自然にできるように、保護者、学校、地域が共に声をかけあっていきたいと思います。

質問9		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	そうじ時間内にきちんとそうじをしていますか。	93.0%	5.7%	0.9%	0.4%	73.8%	22.3%	3.5%	0.4%	6.8	6.4	10.9
保護者	お子さんは、家で家事を手伝っている。	67.5%	29.1%	3.4%	0.0%	23.3%	44.1%	27.2%	5.4%	6.3	4.7	20.8
教職員	そうじ時間は、子どもたちと一緒にそうじをしている。	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	45.5%	40.9%	13.6%	0.0%	6.7	5.6	16.1

本校では、自分の分担場所を責任をもってそうじすること。終わればまだ終わっていない場所を手伝うなどみんなで力を合わせてやり遂げることを目標と、教職員も一緒にやって取り組んでいます。掃除時間は子どもにとって、集団で協力して時間内にやり遂げる力をつけ、その中から段取りをする力や主体性、協調性を身に付けていく大切な教育活動だと考えています。先日あるクラスの掃除を手伝いました。子ども達は自分の役割分担をしっかりと掃除することができますでした。机を運ぶときに、「○さん手伝って…。」と声が上がると、すぐさま別の子が行き、「せーののいちに」と掛け声をかけて机を安全に運んでいました。まさに主体性と協調性を育む教育活動でした。「友達と力をあわせてがんばれた。」「掃除時間中に全部終わらせき

質問10		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	学校の約束を守っていますか。	92.6%	5.2%	1.3%	0.9%	58.3%	36.1%	5.2%	0.4%	6.8	6	13.6
保護者	お子さんは家族の約束事をしっかりと守る。	79.6%	19.4%	1.0%	0.0%	25.7%	52.5%	19.8%	2.0%	6.6	5	19.8

教職員	日々の教育活動の中で、子どもたちに規範意識を育てようと努力している。	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない		
		81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	6.7	5.5

運動場にいると「時間やで、そろそろ終わろ。」「ベル着守ろ。」という声が聞こえています。チャイムが鳴らないでも、自分から時計を見て行動できることができるようになってきました。ベル着も各クラスで浸透してきました。「約束事は守るものだから守る。」という考え方から「なぜ約束事を守ることが大切なのか」を学年の発達段階に応じて常にクラスや学年で話合っているからだと思います。大枝小の子ども達は、日ごろの教育活動で高い規範意識をもって行動できるようになってきています。これからも守らなければならない約束事はしっかりと守り、みんなが気持ちよく学校生活を送ることのできる学校にしていきましょう。

質問11		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	自分のことを大切だと感じていますか。	89.0%	7.9%	1.8%	1.3%	68.1%	19.7%	8.7%	3.5%	6.7	6	13.4
保護者	お子さんは、自分のことを大切だと感じている。	85.0%	14.6%	0.5%	0.0%	46.0%	48.5%	5.4%	0.0%	6.7	5.8	14.7
教職員	日々の教育活動において、人権を尊重する姿勢で子どもたちの指導に当たっている。	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	6.9	5.7	15.9

「あまりできていない。」「できていない」が前期の数値よりも高くなってしまいました。コロナ禍の影響もあり、各自活躍できる場が減り、さまざまな制限がされる中自己肯定感がなかなかもちづらく、やらなければならぬことや困難に出会ったとき、「どうせ頑張っても無理。」「自分は何を頑張ってもうまくいかない。」などと考え込んでしまう児童が見受けられます。我々教職員も大きな行事が中止になるたびに「子ども達にどんな声掛けをしよう。自己肯定感が高められるような取り組みを何とか考えられないか」を日々考えています。今この時節だからこそ、甘やかしではなく、子ども達の内面と真摯に向き合うことが大切だと思います。大枝小の子ども達には「今頑張れる自分がすごいんだ。かっこいいんだ。」「今頑張れることが幸せなんだ」と

質問12		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	健康や安全に気をつけて生活していますか。	92.1%	5.7%	2.2%	0.0%	65.2%	25.6%	7.9%	1.3%	6.8	6.1	12.9
保護者	お子さんは、健康や安全に気をつけて生活している。	84.5%	14.1%	1.5%	0.0%	41.3%	49.3%	9.5%	0.0%	6.7	5.6	16.1
教職員	健康や安全に関わる指導を適切に行っている。	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%	23.8%	66.7%	9.5%	0.0%	6.9	5.3	18.6

児童アンケートの実現度では「そう思う」「大体そう思う」の数値が約90%という結果になりました。先日行われた避難訓練の様子を見ても自らの判断で避難行動をとることができました。安全面では、安全に関する学級指導や安全ノートを活用しての安全学習などを通して、子どもたちの安全意識を高めようと実践を積み重ねています。健康面では毎月1日には保健の日、ノーテレビノーゲームデーの取り組みも浸透してきました。元気な体の状態が豊かな心の育ちにつながります。また、健全な心の状態が健康な体づくりにつながります。ご家庭でも早寝・早起きでの十分な睡眠時間による休養と一日の生活を始めるためのエネルギーとなる朝ごはんを意識していただき、心と体を元気いっぱいにし、有意義な学校生活を過ごしてほしいと思います。

質問13		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	ふだん外で体を動かして遊んでいますか。	84.6%	12.8%	1.8%	0.9%	62.1%	18.9%	12.3%	6.6%	6.6	5.7	15.2
保護者	お子さんは、ふだん外で体を動かして遊んでいる。	78.3%	20.2%	1.5%	0.0%	38.6%	37.6%	18.3%	5.6%	6.5	5.2	18.2
教職員	子どもたちは、体を動かして遊んでいる。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	20.0%	75.0%	5.0%	0.0%	6.7	5.3	18.1

大枝小学校の児童は外遊びが大好きです。なかなか校区に広い公園がないなど遊び場所が少ないのでかかわらず、中間休み、昼休みを問わず放課後も元気いっぱい遊ぶ姿が見られます。しかしこロナ禍という今の事情などにより児童の体を動かす機会が本当に少なくなっていることは否めません。外遊びは身体を疲れさせることで、頭と身体のバランスをとることができますし体力づくりをするうえで非常に大切なことです。また、社会のルールを学ぶ上でもまたコミュニケーション能力を培う上でもなくてはならないものです。制限が多い昨今ですが体を思いっきり動かしてほしいと思います。

質問14		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	思わない			
児童	自分に携帯電話(スマートホン)は、必要だと思いますか。	50.4%	20.0%	16.5%	13.0%	41.9%	11.4%	4.4%	42.4%	5.2	4.1	20.3
保護者	自分の子どもに携帯電話(スマートホン)は必要だと思います。	13.0%	19.7%	45.7%	21.6%	14.7%	26.8%	30.0%	28.4%	3.5	3.6	15.4
教職員	日々の教育活動の中で、情報モラル教育を積極的に行っていく。	78.9%	21.1%	0.0%	0.0%	5.6%	83.3%	11.1%	0.0%	6.7	4.9	20.8

内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」によると小学生のスマホ所有率は2020年時点で53.1%という結果でした(2021年発表分)。保護者がスマートホンを持たせる理由として①いつも連絡が取れる。②子供の居場所がわかる。などのことを聞くことがあります。しかしながら①ゲームや動画に熱中し、やらなければならぬことがおろそかになる。(基本的な生活・勉強時間など)②LINEなど、SNSでのトラブルや集団いじめ。③好奇心、実体験、言葉の体験の3つの重要な刺激が減ること。など問題点もあげられます。特に、SNSを通じたいじめ、触法行為は学校現場に問わざず社会から後を絶ちません。仮に持たせる場合でも、簡易なお知らせなどの伝達、あるいはセキュリティ面等のご家族同士の通信手段以外ではいらないと私たちは考えています。もし、保護者の方の判断で持たせるとしても、持たせた責任が発生することを当然のことながら頭に入れておくことが肝要です。リスクを十分考え、お家の方の管理のもとで持たせてください。学校は「ネット上のいじめ」やインターネット上の違法・有害情報から守るために「情報モラル教室」や「ケータイ・スマホ教室」を継続し、危険性や依存性について指導していきます。

質問15		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	家の人と、学校や社会の出来事について話をしていますか。	77.0%	16.5%	4.8%	1.7%	52.0%	25.3%	16.2%	6.6%	6.4	5.5	16
保護者	お子さんは、家で学校や社会の出来事について進んで話をします。	72.3%	26.7%	1.0%	0.0%	41.8%	37.8%	17.9%	2.5%	6.4	5.4	16.6
教職員	保護者と積極的に連携を取り合っている。	よくなつてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
		84.2%	15.8%	0.0%	0.0%	31.6%	52.6%	10.5%	5.3%	6.8	5.2	19

児童用アンケート・保護者用アンケート(実現度)で「よくできている。」「大体できている。」が77%・79%と高い数値を示しました。家の方で子ども達と保護者の皆さん方が良好なコミュニケーションを構築している様子がうかがえます。新型コロナウィルス感染症拡大により保護者の方々となかなか直接お会いしてお話しする機会も少ない現状の中で、しっかりと学校での出来事を伝えてくれて本当にうれしいです。これからも学校ホームページなどで子ども達の学校の様子もお伝えしていきたいと思います。